

第 1 回市民ワークショップについて

1 概要

第 2 次江田島市総合計画に、市民の思い・意見を反映していくため、市民（16 歳以上）によるワークショップを開催しました。

第 1 回市民ワークショップでは、市民の目線から「市民満足度の高いまちづくり」における 7 つの部門に関する取り組み（アイデア等）を、第 2 回市民ワークショップでは、市民の目線から「未来を切り開くまちづくり」における 4 つのプロジェクトに関する取り組み（アイデア等）を語り合っていました。

2 日時・場所

【第 1 回】

平成 26 年 5 月 17 日（土）

江田島市役所 2 階会議室

①午前 9：30～12：10

②午後 13：30～16：10

3 各班のメインテーマとする分野

【第 1 回】

A 班：「教育・文化」

B 班：「産業・観光」

C 班：「福祉・保健」 「生活・環境」

D 班：「安全・安心」 「基盤」

各班共通：「地域」

4 参加者

午前：35 名 午後：31 名 延べ：66 名

種別	第 1 回		
	午前	午後	合計
男	17	20	37
女	18	11	29
計	35	31	66

種別	第 1 回		
	午前	午後	合計
10 代			
20 代	3	2	5
30 代	10	7	17
40 代	6	3	9
50 代	1	1	2
60 代	12	13	25
70 代	3	4	7
80 代		1	1
計	35	31	66

5 各会場の意見

次のとおり

＜行政などに取り組んでほしいこと＞

テーマ・分類	ワークショップでの意見	担当課	
教育・文化	大柿高校 <ul style="list-style-type: none"> ・中学生が島外に出ない、出さないような確かな教育に力を入れる ・市内居住の子どもを通いやすくするような特典を ・商業科の復活（漁業、カキ、オリーブなどを生かした教育） ・専門化（看護、介護コースなどの設置） ・大柿高校の先生のレベルアップ（島根県の実例を参考に、他地域からの入学を期待） ・隠岐の島でも上手く運営をされているのに、江田島でなぜ出来ないのか ・大柿高校活性化協議会で議論することになっているが、市全体で大きく取りあげる事案 （2年連続80名以下だとなくなる） ・大柿高校のイメージが良くない方で定着している（要改善） ・倉橋島などからの通学バス便を作ってほしい ・特産品を使った店を、大柿高校直営店にしていく（大豆うどんやオリーブなど） 		
	通学支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市外の学校へ通学するための航路確保 ・市外への通学費の補助（バス、フェリーの定期代） 	企画振興課	
	<ul style="list-style-type: none"> ・通学に不安がある（子どもの行き帰りなど） 	学校教育課	
	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・教員が市内に住みたくなる対策（メリットのあるような形に） ・教員用に空き家を活用 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模で対応できる教育制度（スモールハイスクールなど） ・小中や中高の一貫校に改変・誘致 	学校教育課	
	<ul style="list-style-type: none"> ・少年術科学校学校の復活（50人×4年＝200人）への方の再整備（市の活性化大になる） ・水産学校・大学をつくる ・公営塾（市民の講師、ネット利用）、学校教員を辞めた方などでの学習支援を実施 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズニアのような職業体験ができるイベント開催 	学校教育課	
	<ul style="list-style-type: none"> ・祝祭日での国旗掲揚の奨励 	学校教育課	
	学校教育の充実	学校教育の内容（小中学校） <ul style="list-style-type: none"> ・教職員が島外から来るため、部活動等にも制約がある 	学校教育課
		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校等の体験入学による小学生の交流 ・小学校同士の交流が少なく、中学昇級時に孤立する場合もある 	学校教育課
<ul style="list-style-type: none"> ・教員の意識改革（今まで通りでは子どもが退屈する） 		学校教育課	
<ul style="list-style-type: none"> ・小・中・高校で交通ルール学習 		学校教育課	
<ul style="list-style-type: none"> ・学力水準の向上 ・島の良さを教えるカリキュラムを組む ・他地域の学校に勝つため、特色のある教育内容に ・市外から江田島へ通学するような特色ある学校教育 		学校教育課	
<ul style="list-style-type: none"> ・宇品地区の子どもを切串などに呼び込む方策の検討 		学校教育課	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生入学の地域割り、他地域の通学が可能に（統廃合） 		学校教育課	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育も行政サービスだが、小・中学校の廃校は子ども等のふるさとをなくす様 		学校教育課	

テーマ・分類	ワークショップでの意見	担当課
教育・文化 学校教育の充実（つづき）	学校と地域・家庭との信頼関係 ・学校、地域、家庭との信頼関係で、新しい校長先生が来られると、引き継ぎが上手くいっておらず、保護者との関係が上手くいかない ・校長先生が変わる度に、参観日のやり方、懇談の日数、地元とのかかわり方がかわるのは信頼関係に繋がらない ・子どもが地域で育つような教育環境に	学校教育課
	学校施設の整備 ・学校施設の早期耐震化（命を大切に） ・江田島中学校体育館の建替え（旧小学校の建物で狭く、活動に限界がある）	学校教育課
	・都会のいじめ等による不登校児などのための学校に廃校を利用できないか	学校教育課 政策推進課
	・行政7割、他3割の中の8割でまとめ、地元の人が入っていない答申は問題がある（統合等について）	学校教育課
生涯学習の充実	生涯学習活動の支援 ・生涯学習活動の支援を充実 ・有能な江田島出身者が、郷土に貢献する機会が少ない（小中学校でそういう場を設ける） ・年齢別（段階別）に専門分野の指導者による勉強会を設けレベルアップを図る ・公民館講座やセミナー活動など、時期が重なることがあるので調整をしてほしい 社会教育施設の整備 ・子どもの集うコミュニティの場を設ける ・公民館や閉校した運動場・教室を、地域の子どもや住民がいつでも使えるよう、使用料を無料に ・様々な演奏会をしてほしいが、中途半端な施設が多い（500人規模の施設がない） 伝統文化・文化財の保護 ・文化財の保護（祭りなど） ・史跡の良好な保存・管理を行う ・江田島の歴史、文化財を地域住民に対して、どんな方法で公開されているのかわからない ・以前、編さんされた町史を基に、江田島市の市全体のことがもう少し知りたい	生涯学習課
スポーツの振興	スポーツ・レクリエーションの普及・振興 ・学校相互のスポーツ・レクリエーションの普及・交流 ・スポーツ振興に力を入れてほしい ・バレーの栗原選手、競歩の西塔選手などを学校イベントに呼ぶ（土日ならなお良い） 社会体育施設の整備 ・スポーツセンターなどは、中途半端で重要な大会に使用することができない ・スポーツ施設利用料を下げる ・スポーツ活動や武道館の活用（情報提供）	生涯学習課

テーマ・分類	ワークショップでの意見	担当課
産業・観光	戦略・広報 <ul style="list-style-type: none"> ・女性をターゲットにする ・他市町のイベントに積極的に参加し、江田島をアピール ・広報・広告の強化、メディア活用、外部へのアピールの工夫、ゆるキャラづくり ・ブランド名をつくる 	商工観光課 交流促進課
	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・海外の兵学校を有する都市との姉妹都市提携（米，英） 	交流促進課
	<ul style="list-style-type: none"> ・広島市の平和学習と術科学校とを連携した修学旅行誘致 ・修学旅行の受入ホスト家族の高齢化（若い受入人の確保） ・団体対応が不足している 	交流促進課
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食での地産地消 	農林水産課 学校教育課
農林業の振興	生産基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・山が荒れて木が倒れているが、山を整備し何かに活用できないか ・荒れた農地の整備（地域から要望を聞き、太陽光発電などに転用） ・みかん農家の復活をお願いしたい 	農林水産課 都市整備課
	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクと同じように空き農地バンクを 	農林水産課
	後継者・担い手の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・U I ターン農業支援制度 ・20～30代の農業をやりたい人に補助が出来るような制度を 	農林水産課
	高付加価値化・ブランド化 <ul style="list-style-type: none"> ・オリーブの取組が中止半ばのような気がするので、もっと力を入れる ・規格外B級農産物の加工推進 	農林水産課
水産業の振興	生産基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・里海をもっと常時活用できるように ・水産資源の増殖（貝，魚など） ・海を復活させ、潮干狩りを（エイ，チヌ対策） 後継者・担い手の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業など少人数組織でも補助を受けれるような制度を（5人以上の新規雇用でやっと補助がでるのでは、厳しい） 高付加価値化・ブランド化 <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化（音戸ちりめんのように、江田島カキを） 	農林水産課
商工業の振興	企業誘致の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・企業を誘致して働く場所を増やす（若年者労働場所の確保） ・U I ターン者を増やすために企業誘致などを行う（市有地の活用） ・市場やI T企業などの誘致（旧学校の施設） ・企業誘致できる環境整備 ・光通信活用で、市内中無線LAN整備で企業誘致 ・詳細な情報提供 	商工観光課
	創業・起業への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・創業・起業に対して、市がもっと対応できないのか ・市出身者との連携 	商工観光課

テーマ・分類	ワークショップでの意見	担当課
産業・観光	商工業の振興（つづき） 地場産業への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6次産業の育成，ブランド化，商品開発 ・ オリーブ，カキを生かした産業 ・ オリーブ栽培から，ありきたりではない独自の加工品を ・ 親や先代がやってきた事を子どもが継げない環境になりつつある（他市町でやっている補助制度を参考に，充実を） ・ 市出身の学生に地元の企業や職場をアピール 	農林水産課 商工観光課
	労働者福祉の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代が働きたくなる雇用の場づくり ・ 高齢者の働ける産業（若い人も働ける） ・ 水産業は日本人雇用が難しく，外国人雇用になり，収入は江田島に落ちず外国へと流れる 	農林水産課 商工観光課 定住促進課 商工観光課
観光の振興	観光資源の発掘・魅力づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ お金をかけない観光施設，スポットを（パワースポットのような所を企画） ・ 沖美の夕日を生かした取り組み ・ 宮島の涅槃像を利用する ・ 登山道，トレッキングコースなどの環境整備（砲台山，蛇峯山，山頂など） ・ 休耕地活用（オーナー制度） ・ 島にしかない物があれば買いに来る（島のブランド） ・ 健康・美容で特産品を開発（オリーブでの化粧品など） ・ アトピーに海水がいいので，そういった講習で呼ぶ ・ みやげものをつくる（買う所もない） ・ カキなどに観光を絞るのではなく，島全体の魅力を発信 ・ フードコーディネーターの派遣 ・ イノシシ対策で農業被害を減少させ，猪肉の料理を作る ・ 災害時用備蓄食料なども使った料理をイベントで振る舞う ・ 市にカキ村を作ってはどうか ・ カキ祭りは特別な物がなければ県内で行える（江田島独自のプラスアルファが必要） ・ インパクトのある料理でないと，気を引くことは出来ない ・ 子ども（親子）が参加できるイベント強化 ・ マラソン大会，トライアスロンなどの大会開始 ・ 国際交流レク→おいしい！広島県！『過ソチ五輪』 ・ カヌー体験が子どものために良かったので，夏休みなどに多く開催 ・ “いなか”料理を市外の人たちに体験してもらい，江田島にまず来ってもらう ・ サイクリング客向け宅急便（おみやげの送付など） ・ キリンビールとのタイアップ（六角紫水） ・ 自動車学校にハーレーを入れ，周辺商業施設での販売やツーリングコース紹介を ・ 花のPR（市民に対しても。道の駅などでの販売） ・ ホスピタリティの向上（フェリーのチケット購入方法やサイクリングルート看板など） 	商工観光課

テーマ・分類	ワークショップでの意見	担当課
産業・観光 観光の振興 (つづき)	宿泊・観光施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所，体験案内 ・道の駅，海の駅（観光客が立ち寄れる施設，旧大君小学校跡はバスが必ず通り候補地） ・地域ごとに地元の特産品を売っているような物販施設 ・食事施設の充実（港の近く，農産・水産の地場産品を使うこと） ・特色ある食（ゴチ網，カキなどその場で食べるため，時期のPRを） ・海レストランを作るか，誘致 ・魚市場（漁業協同組合，地元と） ・サイクリング者が立ち止まれる休憩施設，喫茶店（若い人向け）など ・宿泊施設の充実（観光地を見学しても日帰りで帰ってしまう，サイクリング客向けなど） ・国民宿舎能美海上ロッジの建替え・リニューアルによる充実 ・産業会館的な建物で，土日対応できる場所を（釣りや天草獲り体験など） ・シーサイド温泉のうみ（料金に疑問あり，中をキレイに修理） ・ふるさと交流館の充実（食事） ・夢来来の駐車場の拡張 ・体験民泊，修学旅行で臨時店舗を開設したが，固定化を 	商工観光課 農林水産課
福祉・保健	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉系勤務者の市民税軽減などによる人材確保 ・福祉従事者の待遇改善 ・お金をかけない医療・介護の仕組みづくり ・市役所にミニ喫茶コーナーを設け，市民が相談しやすいようにする ・緊急時も含めて，いつでも相談できるようにしてほしい 	福祉保健部
子育て環境の充実	子育て支援サービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ（土曜日は月1回）の保護者が仕事の場合，土曜日の保育園に見てもらえないか ・免許を持たない保護者のため，園児の送迎バスを ・60～70代のベテラン主婦の力を生かす“託児・見守り” ・3人出産したら100万円などの補助金・祝い金制度の創設 保育園・児童館等の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・イズミの中に託児所（一時預かり）を作り買い物がゆっくり出来るよう ・病気の子どもを預かる仕組みの充実（病児，病後児保育施設） ・土日祝日の託児施設（休日の仕事が出来にくい） ・保育所の整備（保育所の統合による休園が多すぎ，母親が働けない） 	子育て支援センター 子育て支援センター 交流促進課 子育て支援センター
保健・医療の充実	保健・健康づくりサービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・運動などの助言，指導をしてくれる場所や，健康指導の充実 ・自然道を「歩く」イベント（健康づくりに） ・スポーツセンターの健康器具を使いやすくしてほしい ・地域の医者にもいつでも連絡できるようにしてほしい（主治医でも連絡がつかない） 医療機関の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科，小児科の確保・誘致 ・夜間や時間外診察をしてくれる小児科が少ない ・人間ドッグの出来る施設をつくる（元公共施設を活用するなど） ・病院が多い割には専門の人がおらず，わからないことも ・老人医療の専門医を開いてほしい ・総合病院（市民病院）の設立・誘致 ・様々な病院に行っても，同じ薬が出たり，薬局からのデータ統一ができるよう 	保健医療課

テーマ・分類	ワークショップでの意見	担当課
福祉・保健 高齢者福祉・介護の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・介護認定，生活保護認定が変（情報開示を） ・介護予算の縮小に取り組むべき ・在宅で老後を過ごすことを推進している割に，老人ホームが市内に多く，矛盾を感じる <p>高齢者福祉サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内介護にも助成金の支給 ・介護予備軍への支援充実 ・高齢者の予防医療，介護予防を強化（要支援はずし対策を早く） ・介護サービスで対応しきれない部分に対応して解決する機関や，地域資源の作成・育成 ・高齢者福祉施設における利用料の問題（サービス付き高齢者住宅など） ・市内の老人ホームへの市民優先入居権があれば，将来の安心感がある ・生きがい対策事業（風呂の復活） 	高齢介護課
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になると車に乗れず，買い物ができなくなるため，市による移動買い物車（移動コンビニ）を作ってはどうか ・買い物難民が出ないように，地域ごとに買い物バスを出していく（曜日，時間を指定） ・買い物したい人の大型店などへの，移送サービスを作してほしい ・買い物の支援（啓発，利用促進） 	高齢介護課 企画振興課 （バス）
	<p>介護サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス（給食センターを活用するなど，迅速にサービスを） ・介護者の支援で，必要な人にサービスできていない ・介護施設での発表会や他施設同士の交流はどれくらい行われているかわからない 	高齢介護課
	<p>高齢者福祉・介護施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェアハウス（高齢者タイプ） ・老人福祉施設を増やす ・施設入所待ちがある（要対策） ・高齢者交流の家を目指す（グラウンドゴルフ場など） ・認知症，閉じこもり予防のため，いつでも集まれる場所を作してほしい 	高齢介護課
障害者福祉の充実	<p>障害者福祉サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の会の会員を増やすためなどの場合に，個人情報保護をゆるめてほしい 	社会福祉課
社会福祉の充実	<p>セーフティネットの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護者や，その手前段階のセーフティネットの拡充（一時的な住居，食事など） <p>地域福祉・ボランティアの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り，見廻り体制づくり ・地域における福祉活動の支援 	社会福祉課

テーマ・分類	ワークショップでの意見	担当課
生活・環境	—	
人権尊重と男女共同参画の推進	—	市民生活課
公衆衛生の確保	<p>公衆衛生の確保・環境美化</p> <ul style="list-style-type: none"> 海のごみ収集船を造る（特に湾の奥） 江田島湾内にゴミが多く、景観や観光のイメージを悪くしている カキいかだの下の清掃（海底） <p>・老朽住宅の撤去促進</p> <p>・廃屋、空き地の雑草、木の処理</p> <p>・道路の水路が整備されていないため、大雨が降ると道に流れ、清掃がされていない</p> <p>・山道などは、市役所が中心となり清掃をする（月に1回など）</p> <p>・山道の清掃（昔はよく清掃されていた）</p> <p>・見える部分の清掃だけでなく、見えない部分も対応を（景観面からも）</p> <p>ゴミ対策・リサイクルの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定の地域の箇所に不法投棄があり、強い指導が必要 ごみ収集場の改善 ゴミステーションをゴミ捨て場と考えている住民が多い(モラルの問題、啓発) ゴミ処理の有料化 大型ごみの管理（監視、見守り体制） 生ゴミの重量削減策の推進（財政健全化に繋げる） 	環境課 農林水産課
自然環境の保全	<p>地球温暖化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 空地を利用したソーラー発電 <p>自然環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 江田島湾内での水産業を禁止し、湾内を自然水族館とする（部分的でも） 江田島湾の海水の流動化、江南・飛渡瀬地区での運河の建設（トンネル） 荒地地のビオトープ化 	環境課 農林水産課 建設課 都市整備課
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 24時間いつでも困ったときに連絡できる緊急電話先があると安心 一人住まい見守りシステム（消防+隣近所）の設置促進 各戸への防災無線設置（特に集落から離れた家など） 光回線設備の有効活用による見守りシステムの構築 イノシシが出るため、夜間は歩いて帰られない、子どもが危ない 	危機管理課 高齢介護課 消防本部
大規模災害時の危機管理	<p>大規模災害等に備えた危機管理体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時に活動できるよう、市職員は市内で暮らす 災害ごとの地域避難計画を作成する 津波設定の再検討（飛渡瀬からの海水浸入が考えられる） <p>地域防災活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防の分団が各地区にあるが、詳細がわからない（情報提供を） 防災マップを配布されたが、高齢者などが見ているのかわからない（もっと広報を） 防災体制の広報活動の充実 <p>避難所等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難所の整備、安全性確認（耐震性など） 避難所上層階への外部からのアクセス確保 高台に（津波対策）備蓄場所を設ける 	農林水産課 危機管理課

テーマ・分類	ワークショップでの意見	担当課
総合的な消防体制の充実・強化	救急体制の充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> ・陸・海・空の救急アクセスの拡充 ・救急輸送体制（人員）の強化 ・第2音戸大橋のセンターポールが救急車通行(追い越し)の妨げになるため、改善の検討 	警防課・総務課
暮らしの安全の確保	防犯・交通安全の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・県道（大柿～小用間）の交通量が多く通学に危険 ・通学児童を守る仕組みづくり ・駐在所の警官が少ないことが多い ・高齢者への防犯指導（詐欺など） 	危機管理課
基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・紅葉樹等の植樹による景観の造成 	
都市基盤の整備	道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・江田島市と広島市の間，津久茂と高田の間に橋を架ける ・道路の整備，修復（高齢者に優しい形に） ・軽救急車が導入されたが，それも入れないほど道幅が狭いため，道路整備が必要 ・歩道が少ない ・トンネルの拡幅が出来ないか（バス等が危険：御殿山隧道） ・サイクリングロードの整備（草木の処理，トンネルが危険，ブルーラインでは不十分） ・サイクリングロードは整備が不十分で，行くところが分からない 防災対策（河川・急傾斜地） <ul style="list-style-type: none"> ・広葉樹の植樹による，山林の崩壊などの防災にも 上水道の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の配水管は他市町に比べて細く大きな圧が加わるので，水洗蛇口の劣化が激しい 	建設課 水道業務課・施設課
生活基盤の整備	住宅・住環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・秋月は坂道が多く，老人が歩くときに転びやすいため手すりを付けてほしい 公園緑地の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる公園の整備 ・便利な場所に，遊具のある公園の整備 ・街中の遊休地を利用し，子ども，老人のための公園整備 ・3Fと連動した花の公園の設置（単独ではなく，複合施設に） 	都市整備課
	計画的な土地利用 <ul style="list-style-type: none"> ・町並みの景観整備 	都市整備課
	公共施設の再編・整備 <ul style="list-style-type: none"> ・廃校になっている施設等の活用（地域が元気になる活用方法を） ・高齢者の健康促進をさせる大規模なグラウンドゴルフ場の整備など，インパクトのあるもので利用者の呼び込み，世代を超えた交流の起爆剤に（学校跡地など） ・市民農園による土地の有効活用（市民も，市外在住者利用も） ・鹿田公園グラウンドが有効活用されていないので，スポーツ施設を 	政策推進課・財政課

テーマ・分類	ワークショップでの意見	担当課
基盤 生活交通の確保・充実	海上交通の確保・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・海上交通は専門シンクタンクの知恵を借り、持続可能な仕組みづくりを ・海上交通の充実（船便が少ない、終便が早い） ・船賃（高速艇、フェリー）を安くする ・広島・呉への通勤通学者への支援 ・定住を進める上で、船便がない・不便であることは致命的になる バス等の確保・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・バスの定期便は今後も維持してほしい ・切串港からの交通便が難しいとの高齢者の声がある ・秋月地区は、通学に利用しやすいバスがなく不便 ・通勤通学で便利の良いバスがない ・無料もしくは安価な循環バスを走らせる ・客の乗っていないバスをよく見かける（バス運営方法に疑問。小さめのバスを巡回を） ・住民のニーズを反映する方法で、老人が使える公共バスを運行できないか ・おれんじ号の時間を再編、増便（通院しやすいように、日曜日の買い物専用など。前日予約利用は使いにくい） 	企画振興課
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・離島のため抜本的な施策の必要性があり、リスクを負う気持ちがなければ生き残れない ・核家族から、三世家族に戻るよう取り組む 	交流促進課
都市との交流・定住の促進	都市との交流の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・都市部、広島市との交流促進（住民の流入や観光に繋げる） ・週末居住や、二地域居住を 定住促進策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴い、医療業は衰退する ・若い人、若い女性が住めるまちづくり ・若い世代が住みやすいインフラづくり、制度づくり ・二世帯住宅への補助（介護にもプラスになる） ・古民家や空き家を整備して活用（移住者を増やす） ・定住したくなる住宅への改修 ・空き家バンクは登録だけではなく、改修も支援を ・家賃を安くする（今は高い） ・家を建築する時の補助金を拡大する ・入居に様々な条件がついていて借りるのが困難（要対応） ・空き家を市が買い取り、夫婦世帯などに安く販売 ・定住促進に、各地域におためし住居をつくって実際に住んで貰う（ネットで情報提供、外国人向けも） ・「おためし暮らし制度」などの定住促進に関する広報不足 ・婚活の工夫（小規模で回数を増やす、江田島の花嫁お見合い（テレビなどと協力）） ・住みよいが便利ではないので、定住促進には交通・買い物の便利さが必要 ・市内に住んでもらうため、交通料金、交通便数の改善、交通費補助金化や税優遇の検討 ・定住支援で農業、漁業の担い手を確保 ・島に住んでもらい、島外で働くのも1つ（人口が多いときはそういう人も多かった） ・市民税を下げる（広島市より高い？） 	交流促進課 など

テーマ・分類	ワークショップでの意見	担当課
地域 コミュニティの 振興	<p>自治会等の地域活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市との交流だけではなく、市内の地域間交流の促進 ・年を重ねても、安心して生活できる地域に（独居でも） ・廃校の活用で、コミュニティや老人と子どもたちの触れあう場づくり ・子育てで子ども同士（小・中・高）の連携はあるが、親同士の交流が持てる場があるとよい <p>国際化・多文化共生の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の2%が外国人であり、交流拠点づくりが必要（国際交流協会などの組織も） <p>地域活動拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが活動できる施設整備 ・地域別の交流拠点（地域版道の駅） ・地域活性化の拠点は公民館であり、利用料は無料として皆が集まれるよう（利用者が少ない場合の個人負担割合が大きい） ・集会所も無料にしないと、足が遠のく 	交流促進課
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少をどう食い止めていくのか、行政には考え、提案してほしい ・具体的な施策をまず、市が提案をしていくべき（優秀な人が多い） ・市民からの要望が出された後の市役所の対応を素早くすれば、不満も減る ・市職員は市内に居住する（一体感とは遠い） ・市職員の市外からの交通費を削減する ・説明責任を果たす（協働のまちづくりなど） ・行政と町の人が一体となる活動をしてほしい ・市政運営は市民で行う ・市議会へ多くの人が傍聴に来るように呼びかけ、発信をしてほしい 	全体・市議会

＜住民・地域が中心となって取り組みたいこと，できそうなこと＞

テーマ・分類	ワークショップでの意見	担当課
教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で職業に就ける技術の学習 ・薬用植物など教えてくれるインストラクター（植物にも関心を） ・地元の人が参加しての，学校の午後塾（学童保育＋放課後子ども教室） ・学校で地域文化の学習（盆踊りなども教える） ・登下校時の見守り ・中町JAの前，高田小学校児童のバス通学整理 ・大柿高校のイメージがあまり良くない方で定着している（要改善） 	
生涯学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文庫をつくり，読み聞かせ等を行う ・島を出ても，再び戻ってくるようにする ・自分たちの住んでいる所の良さを教える（行事への参加など） ・自治会や老人会等に教育にどんどん係わってもらい，地域の昔からの行事を続けることに繋げていきたい ・子どもが生まれたら，その地域全体でお祝い会を開く ・地域の人たちで見守り，育てる意識を持つ ・地域が子どもを育てる（声かけ，コミュニケーション） ・閉校された学校の再利用（生涯学習，地域学習の場に） ・多目的地域交流スペース（地元の人がつくり，地元の人が交流できる） ・文化財の保護（祭りなど） ・史跡の良好な保存・管理をする ・島の歴史遺産の発掘 ・「方言コンテスト」で地域間の違いを楽しむなど（全世代の参加を） ・江田島の歴史を学び，子どもたちに伝えたい思いがある 	生涯学習課
産業・観光	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に対する思いが弱く，危機感があるのかどうか・・・大好き人間を ・（市出身の）大学生の子に地元で就職するように言う 	
農林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・地元でつくるグループで販売すればお金になる ・イチゴやトマトのネット販売 ・担い手の参加（水産業・農業）を深江はいつも待っている ・PTAや子どもと一緒に，地元＋UIターンで畑シェアを（やりたい人に繋ぎたい） 	農林水産課
商工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会が主導してみやげ物屋などを開設 	商工観光課
観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・名物のデザート（女性狙い） ・ご当地グルメの開発（ミカンやオリーブなどでB級グルメを） ・イベント開催時に地元の収入になる取り組み ・「しまのわ」イベントに参加し，盛り上げる（おかげんさん） ・サイクリングで来る人の休み場所をつくる（地域でのおもてなし） ・民泊の受入人数があまりにも少ないので驚いている ・民泊を事業に持っていけるよう，市と共に協力してほしい ・路肩に花を植える（菜の花やコスモスなど） 	商工観光課

テーマ・分類	ワークショップでの意見	担当課
福祉・保健	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の改善 	
高齢者福祉・介護の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りの仕組みを地域の力で（島なら出来やすい） ・孤独死防止のため、見守り活動拡充（気に掛け合いをつくっていく） ・見守り，見廻り体制づくり ・健康管理意識の向上（予防医療）で生活習慣病予防 ・介護の送迎には十分注意し，事故を起こさないよう ・介護施設等は良く整っていると思われる ・高齢者の集う場所，機会をつくる 	高齢介護課
障害者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者用駐車スペースに健常者などの駐車があり，障害者が駐車できない（車利用者の意識改善） 	社会福祉課
社会福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・活動・運営の魅力化 ・常設サロンの充実 ・高齢者で家に閉じこもっている人が，外に出かけられる場所があれば良い ・地域サロンが各地にあるが，PR方法を充実し，高齢者が交流し，楽しい余暇を広げて欲しい（有効活用） ・女性会，老人クラブ等の参加者の増 	社会福祉課
生活・環境		
公衆衛生の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいなまちを目指し，一斉清掃を ・清掃日に出ない人が多すぎる。まちが美しくなるためには，皆が協力する必要がある ・坂道や人家のない場所等で側溝にゴミが溜まり，大雨時に水が溢れて出るが，掃除する人がいない ・廃屋・空き地の雑草の処理 ・ちょっと奥に入った農道などでは草刈りが不十分で通りにくい ・主たる関係者が市と連携して，定期的に清掃活動（美しい海づくり） ・発泡スチロールなどは，広域的にも流れてくる？（海上ごみ） ・ゴミを分別する（指定日以外，外に出さないように） ・生ゴミの削減（コンポスト利用やリサイクル） ・小学校等区別単位でリサイクル（いつでも持って行けて，必要な物は持ち帰れる（大君）） 	環境課
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りシステムによる近所・地域の協力 	
大規模災害時の危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・市で行う防災訓練も出る人が少ない（意識改革が必要） ・地域における，災害時の避難支援体制づくり ・災害時に自力で逃げられない人に，支援する人を決める（マップづくりや日々のつながりづくりも） ・近所との声かけによる避難する班づくり・避難所へのルート検討（瓦の落下など危険箇所多数あり） 	危機管理課
総合的な消防体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・女性消防団員の増加による予防活動促進 	警防課・総務課
暮らしの安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・運転否適合者の免許返納促進 ・安易な便乗を控える（高齢者運転による事故被害者の増加抑制） ・細い道路での車のスピード注意（運転者意識の改善） 	危機管理課

テーマ・分類	ワークショップでの意見	担当課
基盤		
都市基盤の整備	・（地域で）小規模分担での道路美化と不安全要素の摘発	建設課
生活基盤の整備	・公園の管理を住民で行う ・地元から利用提案を（廃止施設など）	都市整備課 政策推進課 財政課
地域		
都市との交流・定住の促進	・空いている畑，土地を都市の人たちに安く貸し出す ・島外から人が集まるイベントを盛り上げ，利益が上がるようにする ・（グラウンドゴルフなど）早朝のプレーを避けるなど，近隣住民を考えた行動を取る	交流促進課
コミュニティの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・島民の意識改革，参加意識をもつ ・地域間，地域内での交流を持つようにする ・地域間（町）の連携（全市の祭りなど） ・地域のニーズは地域で解決できるような地域ボランティア育成 ・地域課題に対応できるような地域組織を作っていく必要がある ・担い手，リーダーが不足しており，確保・育成が必要 ・U I ターンの若者を地域活動に巻き込む（支援する） ・地元の人と，アパート住民の繋がりを促進 ・近所付き合いがなく（特にアパート居住者）隣の名前を知らない ・祭りに参加したい人を公募し，外部からの参加も可能とする（サポート体制も十分にとる） ・子どもが多く参加する環境づくり ・お店を出し，子どもも参加させる ・子どもが楽しみにする祭りに（地域に浸透するもの，仮装，コスプレを取り入れるなど） ・祭，盆踊りの情報提供 ・地域のお店を存続させるため，地域のお店を優先的に使う（買い物難民対策にも） ・まちづくり，未来づくりについて，地域単位で考えてはどうか（地域で出来ることがある） ・江田島市は広域化しているので，自治区をつくる 	交流促進課